

百万本の赤い薔薇

こんな人が仲間にいるチームはホントに強い。だからアタシは頭が上がらないし、感謝に堪えない。(ほ、本心ですから!!)

「困った時は原由子に頼め」
というのが、アタシのモットーである。

別に困らなくても、彼女がこれまで負って来た役割りは、大き過ぎるほど大きい。

チューブラー・ベルズを「勝手に」この曲に加えた。
例えば歌のメロディや、曲の方向性に対しての分析がちゃんと出来ていないと、弦やブラスのみならず、楽器の置き方ひとつで音楽は空中分解してしまう。

サザン結成、いやそれ以前のお互いが10代の頃からずっと、彼女の才能とセンスにはみんなが驚嘆し、アマチュアの仲間内で彼女を誰が自分のバンドに引き入れるか、そんな闘いが日々繰り返されたこともあった。そしてよくウチのバンドなんかに入ってくれたな、と

キーボード類とたくさん参加してくれている。ありがとう。蟻が10(トウ)なら芋虫20(ハタチ)。
アタシが一番頼りにしているミュージシャンは、やはり彼女なのだと思う。
(だから日頃の事はカンニンして)

彼女の、主線(例えばアタシの歌)に対するカウンターラインの取り方は、時としてクラシカルであり、コンテンポラリーであり尚且つヴァラエティに富んでいて美しい。(また褒めちゃった)

真面目。とにかく真面目。
そして努力の人。
魔法や奇跡を生むのは、
そんな毎日の積み重ねなんだあ……って、
原由子さんからはいつも教えてもらっています。

オアシスと果樹園

今年3月にCM撮影でハワイに行った。昨年も出演させて頂いたJTBさんのお仕事だ。
この時点で、「がらくた」というアルバムに全部で何曲収録するかは決めていない。

が多いのだが、今回は何だかどうもしっくりこない。
概ねテレビのCM主題歌というのは、15秒サイズから1分サイズというのを先方にお渡しする。
曲でいえば一番盛り上がるキャッチーなところ、つまり通常「サビ」と言われる部分が基調になってくる。

都合がいい事が多いのだ。
お分かり頂けるだろうか？
まあ、大して重要な話ではないので、先に進めるね。
その理屈から言うと、それまで録り終わっていた曲の中には、どうも「ハワイ島」だとか「最高の旅」だとか「雄大なスケールの海を空撮する」だとかに適したものが、イマイチ見当たらない気がしたのである。

越して、頭の中に自分が外国行きの飛行機に乗った状況 イメージする。
そこでアッ!と、思った。
何の繋がりもないが、自分だけの勝手な都合のイイ脈絡だ。
これ、**片岡義男の「きまぐれ飛行船」だ!!**
飛行機じゃなくて飛行船ってところも許して欲しい(汗)。

ズ・ヴォーカルがアナログ・レコードで鳴っていた。
アタシ「ねえ、ジョージさん(このパーテン兼オーナーさん)コレ、誰??」
また言うが、「ウタ」の語源は「訴える」なんだそうなの。
あの片岡義男さんと、今は亡き安田南さんが、きまぐれ飛行船という言葉に乗って、あの日アタシに いられたのなら…嬉しいのにな。

ろ？
ジョージさん「これね、安田南。いいでしょ?」
アタシ「おー、きまぐれ飛行船出た人だ。あの人のお喋り色っぽくてカッコ良かったね。それにしても歌上手いよね!!」
ジョージさんがかけていたのは、安田南さんという、歌手であり女優の「South」というアルバムだった。
ちなみに西岡恭蔵さんの「アカブカ」はヘビー・スモーカーだった彼女を歌ったものだからかな。

いわゆる作曲家や編曲家としての一面もあるのだ。
ピアノによる、ちょっとしたアルジー・テイストなプレイから、シンセで彼女が考え出したサザンのキラ・チューンのなフレーズの数々。
それはそれは枚挙に暇がないほど。しかもどれもが斬新でハイ・クオリティだ。(褒め過ぎか!?)

彼女はその時、自分なりに将来の事とか考えてたのかな? みたいなレコーディングの最中に、トンデモナイ息吹きを吹き込んでくれて事態は好転した: みたいな状況が、サザンでもアタシのソロでも多々あった。
そんな原さんに丸投げしたのがこの曲であり、彼女はピアノを弾いたのと、ストリングスやそれに加えて

こんな事を、いくら言葉や文字を尽くしても伝わらないし、無意味なんだろうけど、原さんのお陰で1011が10になったり、地味な展開の曲調で、これやめちゃおうかな? みたいなレコーディングの最中に、トンデモナイ息吹きを吹き込んでくれて事態は好転した: みたいな状況が、サザンでもアタシのソロでも多々あった。

今年3月にCM撮影でハワイに行った。昨年も出演させて頂いたJTBさんのお仕事だ。
この時点で、「がらくた」というアルバムに全部で何曲収録するかは決めていない。

が多いのだが、今回は何だかどうもしっくりこない。
概ねテレビのCM主題歌というのは、15秒サイズから1分サイズというのを先方にお渡しする。
曲でいえば一番盛り上がるキャッチーなところ、つまり通常「サビ」と言われる部分が基調になってくる。

都合がいい事が多いのだ。
お分かり頂けるだろうか？
まあ、大して重要な話ではないので、先に進めるね。
その理屈から言うと、それまで録り終わっていた曲の中には、どうも「ハワイ島」だとか「最高の旅」だとか「雄大なスケールの海を空撮する」だとかに適したものが、イマイチ見当たらない気がしたのである。

越して、頭の中に自分が外国行きの飛行機に乗った状況 イメージする。
そこでアッ!と、思った。
何の繋がりもないが、自分だけの勝手な都合のイイ脈絡だ。
これ、**片岡義男の「きまぐれ飛行船」だ!!**
飛行機じゃなくて飛行船ってところも許して欲しい(汗)。

ズ・ヴォーカルがアナログ・レコードで鳴っていた。
アタシ「ねえ、ジョージさん(このパーテン兼オーナーさん)コレ、誰??」
また言うが、「ウタ」の語源は「訴える」なんだそうなの。
あの片岡義男さんと、今は亡き安田南さんが、きまぐれ飛行船という言葉に乗って、あの日アタシに いられたのなら…嬉しいのにな。

ろ？
ジョージさん「これね、安田南。いいでしょ?」
アタシ「おー、きまぐれ飛行船出た人だ。あの人のお喋り色っぽくてカッコ良かったね。それにしても歌上手いよね!!」
ジョージさんがかけていたのは、安田南さんという、歌手であり女優の「South」というアルバムだった。
ちなみに西岡恭蔵さんの「アカブカ」はヘビー・スモーカーだった彼女を歌ったものだからかな。

今年3月にCM撮影でハワイに行った。昨年も出演させて頂いたJTBさんのお仕事だ。
この時点で、「がらくた」というアルバムに全部で何曲収録するかは決めていない。

が多いのだが、今回は何だかどうもしっくりこない。
概ねテレビのCM主題歌というのは、15秒サイズから1分サイズというのを先方にお渡しする。
曲でいえば一番盛り上がるキャッチーなところ、つまり通常「サビ」と言われる部分が基調になってくる。

都合がいい事が多いのだ。
お分かり頂けるだろうか？
まあ、大して重要な話ではないので、先に進めるね。
その理屈から言うと、それまで録り終わっていた曲の中には、どうも「ハワイ島」だとか「最高の旅」だとか「雄大なスケールの海を空撮する」だとかに適したものが、イマイチ見当たらない気がしたのである。

越して、頭の中に自分が外国行きの飛行機に乗った状況 イメージする。
そこでアッ!と、思った。
何の繋がりもないが、自分だけの勝手な都合のイイ脈絡だ。
これ、**片岡義男の「きまぐれ飛行船」だ!!**
飛行機じゃなくて飛行船ってところも許して欲しい(汗)。

ズ・ヴォーカルがアナログ・レコードで鳴っていた。
アタシ「ねえ、ジョージさん(このパーテン兼オーナーさん)コレ、誰??」
また言うが、「ウタ」の語源は「訴える」なんだそうなの。
あの片岡義男さんと、今は亡き安田南さんが、きまぐれ飛行船という言葉に乗って、あの日アタシに いられたのなら…嬉しいのにな。

ろ？
ジョージさん「これね、安田南。いいでしょ?」
アタシ「おー、きまぐれ飛行船出た人だ。あの人のお喋り色っぽくてカッコ良かったね。それにしても歌上手いよね!!」
ジョージさんがかけていたのは、安田南さんという、歌手であり女優の「South」というアルバムだった。
ちなみに西岡恭蔵さんの「アカブカ」はヘビー・スモーカーだった彼女を歌ったものだからかな。

今年3月にCM撮影でハワイに行った。昨年も出演させて頂いたJTBさんのお仕事だ。
この時点で、「がらくた」というアルバムに全部で何曲収録するかは決めていない。

が多いのだが、今回は何だかどうもしっくりこない。
概ねテレビのCM主題歌というのは、15秒サイズから1分サイズというのを先方にお渡しする。
曲でいえば一番盛り上がるキャッチーなところ、つまり通常「サビ」と言われる部分が基調になってくる。

都合がいい事が多いのだ。
お分かり頂けるだろうか？
まあ、大して重要な話ではないので、先に進めるね。
その理屈から言うと、それまで録り終わっていた曲の中には、どうも「ハワイ島」だとか「最高の旅」だとか「雄大なスケールの海を空撮する」だとかに適したものが、イマイチ見当たらない気がしたのである。

越して、頭の中に自分が外国行きの飛行機に乗った状況 イメージする。
そこでアッ!と、思った。
何の繋がりもないが、自分だけの勝手な都合のイイ脈絡だ。
これ、**片岡義男の「きまぐれ飛行船」だ!!**
飛行機じゃなくて飛行船ってところも許して欲しい(汗)。

ズ・ヴォーカルがアナログ・レコードで鳴っていた。
アタシ「ねえ、ジョージさん(このパーテン兼オーナーさん)コレ、誰??」
また言うが、「ウタ」の語源は「訴える」なんだそうなの。
あの片岡義男さんと、今は亡き安田南さんが、きまぐれ飛行船という言葉に乗って、あの日アタシに いられたのなら…嬉しいのにな。